

# TAKADA トピックス

## 第51回プラントメンテナンスショー， 第3回インフラメンテナンス展 出展

当社が開発した回転機械の状態監視システム、『電流情報量診断システム (T-MCMA<sup>®</sup>)』(以下T-MCMA<sup>®</sup>)をPRするため、第51回プラントメンテナンスショー、第3回インフラメンテナンス展に出展しました。各展示会で様々な分野のお客様および協力会社様にT-MCMA<sup>®</sup>によるソリューションを紹介することができました。

### 1. メンテナンス・レジリエンスTOKYO2025 第51回プラントメンテナンスショー

プラントメンテナンスショーは、工場設備の維持管理・保全技術を対象とした国内唯一の展示会であり、第51回目の開催となった今回も同時開催展を含め3日間で延べ43,000人近くの来場者が訪れました。

#### ■ 出展概要

『見えないところを診える化する』をコンセプトに、電流情報量診断技術およびそのプロダクトであるT-MCMA<sup>®</sup>による、回転機械の状態監視・診断の概要およびソリューション事例を紹介しました。また開発中のエッジ型デバイスを初公開いたしました。

- ・デモ機を用いた製品活用イメージの紹介 (プレゼンテーション)
- ・時代のニーズに合った診断ソリューションの提示
- ・出展者セミナーでの診断事例紹介
- ・エッジ型デバイスの実機展示とPR

今回の出展にあたってはプレスリリースやメール配信サービス等を活用し、コーポレートサイト上に専用のLP (ランディングページ) を開設するなど事前の情報発信を充実させ、また大型ディスプレイを設置し注目されるブース装飾にしたこともあり、例年を上回る多くの方に当社ブースへご来場いただきました。今後も継続的な情報発信やお客様とのコミュニケーションを行い、当社の設備診断ソリューションの適用拡大を推進してまいります。



横幅5mのLEDディスプレイを採用し  
アイキャッチやプレゼンテーションに活用



お客様が気軽に質問・相談できる  
“ソリューションカウンター”を設置

## 2. 自治体・公共Week2025インフラメンテナンス展

インフラメンテナンス展は自治体や公共機関の関係者が来場する「自治体・公共Week」の構成展の一つであり、社会インフラの維持・運用管理に関するサービスが出展しています。

### ■ 出展概要

本展示会では「点検DXで、公共インフラの延命とコスト最適化を実現」をテーマに上下水道などの水処理施設を中心に社会インフラ分野のお客様へT-MCMA<sup>®</sup>によるソリューションを紹介しました。

これまで、T-MCMA<sup>®</sup>は主に化学・鉄鋼・石油分野などのプラント設備において活用いただいておりますが今後、社会インフラ分野にも適用範囲の拡大を目指していくべく、本展示会に初出展いたしました。

背景として近年、社会インフラ分野では設備全体の老朽化が進んでおり、センシング技術などを活用した計画的・効率的な維持管理の手法（ストックマネジメント）に注目が集まっています。会期中も自治体の職員様を中心に多くの方にご来場いただきました。今後は、同分野においてもお客様の課題に寄り添ったソリューションを展開できるよう商品・サービスの開発に努めてまいります。



当社出展ブース



水処理施設での  
活用イメージグラフィックを壁面に挿入